

宗祖命日 2025年3月の参拝者 9名 順不同:敬称略	増田 和久 (小倉南区)	森下 勝美 (小倉北区)	本多 義宏 (門司区)	崎田 元信 (小倉南区)	天神 正行 (小倉南区)
	天神 光介 (小倉南区)	白石 益三 (門司区)	池本 周司 (小倉北区)	池本 眞理子 (小倉北区)	

永代経懇志御礼	小笠原 トキ子 様	法要懇志御礼	武中 義隆 様 葛城 誠治 様
----------------	-----------	---------------	-----------------

※お彼岸に際してお供え、御仏前ありがとうございました。深く感謝いたします。



4月の行事予定

16日(水) 宗祖命日 7時～ 本堂

18日(金) 婦人会例会 12時～ 門徒会館

コール・カンタカの練習はお休みです。

地区総代会のお知らせ

今年度の地区総代会は4月15日(火) 15時に行います。
総代・地区総代の皆様は無理のない範囲でご出席ください。



花まつりのお知らせ

今年度、花まつり8日から18日まで花御堂を玄関前に設置します。
どうぞお釈迦様のご誕生を祝い、甘茶をかけてください。
お時間あれば本堂にもお参りください。



お知らせ

- 寺報には大切な情報が書かれていることがあります。捨てずにご一読ください。
- お経本は床に置かないでください。
- 毎月16日は親鸞聖人命日(おあさじ)にお参りください。
- 住所が変更する場合は、恐れ入りますがお寺に届けてください。
- 最近では法事が土曜・日曜に集中しますので、早めに連絡頂ければ助かります。(特にお寺で法事をする場合)



永照寺 【開門・閉門の時間】 ●開門…6時30分 ●閉門…18時

行事予定やお参り・法要などの連絡事項は「ホームページ」にて随時更新しています。 離れて暮らすご家族にもオススメです。

ホームページに関してのご意見、ご希望、メールをお待ちしています。
<https://www.eishouji.or.jp/>
北九州 永照寺 検索



永照寺:住職のブログ【凡愚庵(ぼんぐあん)】も合わせてご覧いただければ幸いです。
左記のホームページ内に移転しました。

モバイルはこのマークをカメラで読み込んでください。

お寺の 掲示板

日々の暮らしの 背後には 大きな おかげさま

〔掲示月〕2025年(令和7年)3月



お寺の掲示板には 住職前住職が「毎月」言葉を書いて、通りがかりの人がメモをしたりして、「意味を教えてください」と、たずねられることもあります。この「お寺の掲示板」のコーナーでお伝えしていきたいと思えます。

花の季節、卒業、入学、入社、出会いと別れの季節、この時期になると、自然のめぐみ、多くの人のお蔭を、より強く感じます。

司馬遼太郎さん(1923～1996)の命日は2月12日、生前、菜の花が好きだったので「菜の花忌」と呼ばれています。お墓は、京都の「大谷本願」にあります。

司馬遼太郎さんの「街道を行く24 近江散歩、奈良散歩」に、『近江を語る場合、「近江門徒」という精神的な土壌をはずして論ずることはできない、さらには真宗の絶対他力の教義が、近江人のことばづかいや物腰を丁寧にしてきた。日本語には、「させて頂きます」というふしぎな語法がある。この語法は、浄土真宗(真宗・門徒・本願寺)の教義上

から出たもので、他宗には、思想としても言いまわしとしても無い。真宗においては、すべて阿弥陀如来(他力)によって生かしていただいている。三度の食事も、阿弥陀如来のお蔭でおいしくいただき、家族もろとも息災に過ごさせていただき、この語法は絶対他力を想定してしか成立しない。それによって「お蔭」が成立し、「お蔭」という觀念があれぼこそ、「地下鉄で虎ノ門までゆかせて頂きました」などと言う。相手の銭で乗ったわけではない。自分の足と銭で地下鉄に乗ったのに「頂きました」などというのは、他力への信仰が存在するためである。」と述べられています。

大きなおかげさまを感じる日々を過ごしています。

永照寺引上会報恩講のご案内

【期 日】

2025年
朝/10:00~
昼/13:30~
夜/20:00~

5月14日(水)
朝/昼

5月15日(木)
朝/昼/夜

5月16日(金)
朝

●1時間半程度と考えています。●14日と15日はお斎の接待があります。

【講 師】

宮武 大悟 師 (広島市 西念寺ご住職)



引上会報恩講懇志(随意)と本願寺門徒講(1000円)を合算して、今月号に同封の懇志袋にて上納くださいませ。

懇志袋は複写式の為、ボールペンで強く書いてくだされば助かります。(封筒は受付にも用意しています)

※本願寺門徒講とは、本山西本願寺に納める賦課金のことで…わかりやすくいえば税金のようなものです。皆様からお預かりしたものをとりまとめて上納しています。

- 引上会(いんじょうえ)…本山における御正忌(旧暦十一月二十八日、太陽暦一月十六日)より前に予修する報恩講です。
- 報恩講(ほうおんこう)…親鸞聖人の命日をご縁に私がお念仏に出遇ったことを喜びつとめる仏事です。
- 十五日の夜の座 大速夜(おおたいや)…「無言勤行」は全国的にも珍しいお勤めです。親鸞聖人の通夜行事で本堂の照明を消し、蠟燭の灯だけ。お経さまをお勤めすることなく無言でただ座り、親鸞聖人の前で焼香しご遺徳を偲ばせてもらうものです。膨大な音と情報が氾濫するなか光を消し、音を閉ざす無言勤行は私が真に随っていく光と音はなにかをしらせてくれるご縁です。

法事について

法事に関するお問い合わせが多いので、今月の寺報でも掲載させていただきます。(ホームページ「法事について」でも掲載しています。)



1. ご自宅にてお勤めする(日時を決めてこちらからお参りに伺います)
2. お寺にてお勤めする ●お参りに来る人数をお知らせください。 ●法要会場はイス席です。

持参したほうがいいもの

- 位牌、過去帳、法名軸のいずれか
- お供え(お菓子、果物等)
- お花(アレンジ可)



上記持参いただかなくてもお勤めできますので、無理のない範囲で大丈夫です。写真等、故人を偲ぶものをご持参いただいても結構です。

お位牌について

拙寺では満中陰法要(49日法要)までは白木位牌を用い49日以降に過去帳等に転記します。(西本願寺は過去帳をすすめています)

小倉組第7期 連続研修会 れんけん

【日 程】 令和7年6月より偶数月第4日曜日(全12回) ※8月は第5日曜日、12月は第3日曜日
 【時 間】 15:00~18:00 3時間
 【場 所】 西宗寺(6月・8月・10月) / 小倉北区香春口2-4-23
 西蓮寺(12月・2月・4月) / 小倉北区三萩野2-8-23

お申し込みはお電話ください。



「れんけん」とは

12回の連続研修会のことを「れんけん」と呼びます。浄土真宗のことが何とわからない!という方でも安心して浄土真宗について学ぶことができます。毎回テーマに基づいて講師の僧侶からお話があり、それに沿ってグループごとに話し合いを行います。もちろん話し合いが苦手な方は無理に発言する必要はありません。皆さんの話し合いを聞くだけでも有意義な時間になります。

12回の研修ですから、1回の研修では気づくことのなかったような深い気づきが生まれます。また、疑問や悩みを語り合う中で共に受講される方々と親しくなっていきます。ぜひお誘い合わせの上ご参加ください。その他、ご不明点は所属寺にお問い合わせください。

「れんけん」 小倉組第7期 連続研修会 全12回

ゼロから2年で学ぶ 浄土真宗

浄土真宗と一緒に学びませんか

参加者募集

日程
令和7年6月より 偶数月第4日曜日(全12回) ※8月は第5日曜日、12月は第3日曜日

時間
15:00-18:00 3時間

主催
浄土真宗本願寺派

場所
西宗寺(6月・8月・10月) 小倉北区香春口2-4-23
西蓮寺(12月・2月・4月) 小倉北区三萩野2-8-23

「れんけん」スケジュール

令和7年	6月 22日	私にとって幸せとは何でしょうか
	8月 31日	葬儀や法事などは何のためにするのですか。しなければならないのですか。
	10月 26日	老いて亡くなるのがわかっていても受け入れられません。
	12月 21日	他人からどう思われているのか気になって仕方ありません。
令和8年	2月 22日	お浄土とは何ですか。
	4月 26日	私は神さまも仏さまも信じていますが、それではいけないのですか。
	6月 28日	自分だけが幸せで良いのでしょうか。
	8月 30日	私は差別したことはありません。なぜ部落差別はなくなるのでしょうか。私は何をすればよいのでしょうか。
	10月 25日	環境・格差・貧困など社会問題は、宗教が入り込む問題ではないと思いますが。
令和9年	12月 20日	戦争をなくし、平和を築きあげるにはどうしたらよいですか。
	2月 28日	この連研を通して、感じたこと気付いたこと、嬉しかったこと。
	4月 25日	念仏者の生き方とはどのような生き方なのでしょうか。